



令和6年12月18日

令和6年度第2回高等学校卒業程度認定試験実施結果

令和6年度第2回高等学校卒業程度認定試験（以下「高卒認定試験」という。）を11月2日（土）・3日（日）の2日間実施しました。

また、大雨の影響により、やむを得ず受験できなかった方を対象とした再試験を、11月23日（土）に実施しました。

受験者数は7,485人（前年度比1,038人減）、高卒認定試験合格者数（全ての科目に合格し、大学入学資格を取得した者をいう。）は3,608人（前年度比376人減）でした。

なお、高卒認定試験合格者に対しては合格証書を、一部科目合格者に対しては科目合格通知書を文部科学省から送付しています。

出願者、受験者及び合格者の状況等は以下のとおりです。

出願者、受験者及び合格者の状況 （単位：人）

		出願者	受験者	高卒認定試験合格者
令和5年度	第1回	9,533	8,290	3,948
	第2回	9,658	8,523	3,984
	計	19,191	16,813	7,932
令和6年度	第1回	9,111	8,100	4,140
	第2回	8,518	7,485	3,608
	計	17,629	15,585	7,748

＜担当＞ 総合教育政策局生涯学習推進課
課長補佐 市川（内線 3721）
認定試験第二係 荒井（内線 2024）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-3267（直通）

1 高卒認定試験の1以上の科目に合格した者の内訳

年 度	受験者数	1以上の科目に合格した者					
		高卒認定試験合格者 (大学入学資格取得者)			高卒認定試験合格者以外 の一部科目合格者		
	人	人	%	人	%	人	%
R5	16,813	15,182	90.3%	7,932	47.2%	7,250	43.1%
R5第1回	8,290	7,580	91.4%	3,948	47.6%	3,632	43.8%
R5第2回	8,523	7,602	89.2%	3,984	46.7%	3,618	42.4%
R6	15,585	14,170	90.9%	7,748	49.7%	6,422	41.2%
R6第1回	8,100	7,556	93.3%	4,140	51.1%	3,416	42.2%
R6第2回	7,485	6,614	88.4%	3,608	48.2%	3,006	40.2%

2 高卒認定試験合格者の最終学歴別状況

年 度	中学校卒業		高校中退		全日制高校 在学		定時制・通信制 高校在学		高専中退		その他		計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
R1	903	10.1	4,900	54.9	1,643	18.4	776	8.7	181	2.0	528	5.9	8,931
R2	797	10.4	4,253	55.4	1,272	16.6	726	9.5	153	2.0	480	6.2	7,681
R3	783	9.7	4,266	52.7	1,692	20.9	743	9.2	108	1.3	505	6.2	8,097
R4	851	10.7	4,026	50.6	1,841	23.1	691	8.7	104	1.3	448	5.6	7,961
R5	738	9.3	3,986	50.3	1,837	23.2	760	9.6	125	1.6	486	6.1	7,932
R5第1回	387	9.8	2,271	57.5	574	14.5	369	9.3	80	2.0	267	6.8	3,948
R5第2回	351	8.8	1,715	43.0	1,263	31.7	391	9.8	45	1.1	219	5.5	3,984
R6	760	9.8	3,888	50.2	1,673	21.6	864	11.2	93	1.2	470	6.1	7,748
R6第1回	418	10.1	2,348	56.7	583	14.1	457	11.0	64	1.5	270	6.5	4,140
R6第2回	342	9.5	1,540	42.7	1,090	30.2	407	11.3	29	0.8	200	5.5	3,608

3 受験者・合格者の年齢別内訳(令和6年度第2回)

年 齢	受験者数 (最高年齢81歳)		合格者数 (最高年齢65歳)	
	人	%	人	%
16歳～18歳	4,199人	56.1%	2,407人	66.7%
19歳～20歳	915人	12.2%	387人	10.7%
21歳～25歳	652人	8.7%	268人	7.4%
26歳～30歳	375人	5.0%	142人	3.9%
31歳～40歳	645人	8.6%	234人	6.5%
41歳～50歳	402人	5.4%	131人	3.6%
51歳～60歳	141人	1.9%	36人	1.0%
61歳以上	156人	2.1%	3人	0.1%
計	7,485人		3,608人	

(参考)合格者の平均年齢及び最高年齢推移

年 度	平均年齢	最高年齢
R1第1回	22.4	74
R1第2回	22.2	72
R2第1回	22.3	73
R2第2回	22.9	72
R3第1回	22.6	74
R3第2回	22.1	74
R4第1回	22.4	76
R4第2回	22.2	80
R5第1回	22.3	86
R5第2回	21.8	72
R6第1回	21.3	71
R6第2回	21	65

- (注) 1. 年齢は年度末におけるもの。
2. 合格者には18歳未満の者が含まれるが、合格者となるのは18歳の誕生日の翌日からである。
3. 割合は四捨五入により算出しているため合計が100%にならない場合がある。

4 高卒認定試験の受験地別受験状況(令和6年度第2回)

都道府県名	出 願 者	受 験 者	高卒認定試験合格者
北海道	330	300	148
青森県	46	42	22
岩手県	62	57	28
宮城県	152	134	55
秋田県	54	48	30
山形県	47	38	17
福島県	55	52	23
茨城県	105	85	34
栃木県	109	93	43
群馬県	132	114	56
埼玉県	351	308	142
千葉県	435	383	207
東京都	1,160	986	483
神奈川県	813	716	360
新潟県	104	90	48
富山県	101	83	40
石川県	52	48	25
福井県	40	35	21
山梨県	37	32	12
長野県	83	72	33
岐阜県	93	83	45
静岡県	160	144	82
愛知県	490	419	211
三重県	88	79	40
滋賀県	127	112	37
京都府	217	182	72
大阪府	675	585	284
兵庫県	411	367	154
奈良県	109	99	49
和歌山県	58	54	25
鳥取県	39	38	30
島根県	40	36	17
岡山県	114	100	52
広島県	171	142	65
山口県	38	33	13
徳島県	36	29	7
香川県	46	45	22
愛媛県	61	56	29
高知県	70	62	22
福岡県	311	266	120
佐賀県	62	55	31
長崎県	52	46	33
熊本県	70	64	34
大分県	55	47	23
宮崎県	72	64	41
鹿児島県	91	83	48
沖縄県	142	128	51
矯正施設	352	351	144
合 計	8,518	7,485	3,608

5 高卒認定試験の受験状況の推移

年度	出 願 者	受 験 者	高卒認定試験合格者	一部科目合格者
S26 ※1	8,106	6,029	338	3,015
S30	5,900	4,695	689	2,990
S40	3,021	2,169	393	1,528
S50	3,773	3,141	1,426	1,670
S60	8,657	7,406	2,089	4,836
S61 ※2	11,232	8,809	3,593	5,352
H1	16,726	14,560	4,340	8,694
H6 ※3	20,016	17,670	5,810	10,157
H11 ※4	20,121	17,900	10,332	8,365
H12 ※5	21,288	21,288	9,491	9,796
H13 ※6	35,629	32,460	14,003	16,880
H17 ※7	26,631	23,784	9,742	12,770
H19 ※8	31,796	28,317	12,269	14,142
H21	33,461	29,967	12,307	16,255
H27	26,260	23,170	10,755	11,392
H28	25,535	22,539	10,185	10,986
H29	24,713	21,744	10,451	10,195
H30	24,151	21,220	10,177	9,782
R1	22,474	19,853	9,834	9,099
R2	18,825	16,654	8,443	8,095
R3	20,215	17,704	8,818	8,133
R4	19,653	17,154	8,609	7,944
R5第1回	9,533	8,290	3,948	3,632
R5第2回	9,658	8,523	3,984	3,618
R6第1回	9,111	8,100	4,140	3,416
R6第2回	8,518	7,485	3,608	3,006

※1 昭和26年度に現在の「高等学校卒業程度認定試験」の前身である「大学入学資格検定」制度を創設。

※2 必ず受験しなければならない科目から「体育」及び「保健」を削除する等の改正を行い、昭和61年度から実施。

※3 平成6年度から、技能審査（実用英語技能検定等）の合格者について相当する受験科目の免除を実施。

※4 平成11年度から、全日制高校又は高等専門学校の中退予定者についても出願受付を拡大（ただし、試験日前日までに退学していることが条件）。

※5 平成12年度から、インターナショナルスクール・外国人学校等の卒業生及び義務教育未修了者にも受験資格を拡大。

※6 平成13年度から試験を年2回実施。さらに、合格に必要な科目数を精選（11又は12→9又は10）するとともに、実施期間の短縮を実施（4日間→2日間）。

※7 中央教育審議会答申「大学入学資格検定の見直しについて」を受けて、「高等学校卒業程度認定試験」制度を創設。満16歳以上の方に受験資格を付与するとともに、高校在籍者等にも受験資格を拡大。また、合格に必要な科目数を8又は9科目に改正。

※8 法務省と連携し、矯正施設内の受験希望者に対して当該施設内での試験を実施。

（注）令和4年度以前の合格者数は、一部科目合格後、高校等において修得した単位等をもって当該年度中に追加合格した者を含む人数である。